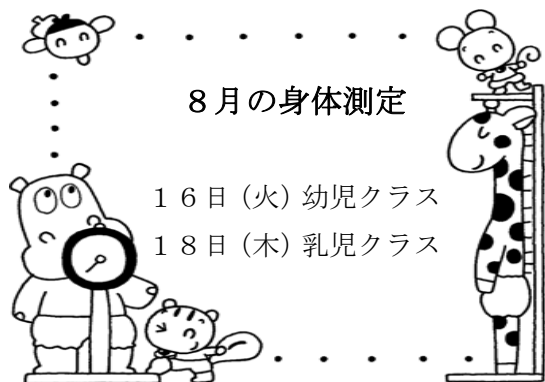




暑い日が続いています。体調を崩している
お子様も多くなってきました。7月はヘルパンギー
ナと手足口病が流行しました。寝苦しい暑い夜が続くと熟睡できず
体調を崩しやすいですね。

日中は、熱中症にならないよう毎日注意が必要です。水分補給や長時間の
屋外での活動は避けるなど、気を付けていきましょう。この夏、旅行など遠
出の計画を立てているご家庭も多いかと思います。外出先では、健康面と安
全に気を配り、楽しい思い出が沢山できるといいですね。



< 7月の感染症 >

ヘルパンギーナ	乳児4名 幼児2名
手足口病	乳児6名、幼児1名
水痘疑い	乳児1名
突発性発疹	乳児1名
りんご病	幼児1名
結膜炎	乳児1名
とびひ	乳児7名、幼児1名

< 野山に出かけるときは >

白っぽい帽子

スズメバチは黒いものや黄色いもの
を攻撃する習性があります。帽子は白
っぽいものをかぶりましょう。

長そで&長ズボン

草木の多い場所では、露
出の少ない服装に。

フリルのついた服は避ける

ひらひらした服は、ハチを巻き
込むことがあります。



自然豊かな野外に出かけるときは、虫
刺されや植物かぶれが心配です。次の
ような点に注意しましょう。

大声で騒がない

大きな音はハチを刺激しや
すいです。大声で騒いだり、
音楽をかけたりするのは避
けましょう。

ジュースを飲み ながら歩かない

甘い匂いは、ハチを誘
う原因にもなります。
香水やヘアスプレーも
危険です。

～「とびひ」について～

7月は乳児クラスを中心に「とびひ」が流行しました。「とびひ」は夏になると多くなってくる皮膚
疾患です。プールもある時期なので、お子様の皮膚状態に注意していきましょう。

< 「とびひ」ってなに? >

「とびひ」は正式には「伝染性膿痂疹（でんせんせいのうかしん）」と言います。「黄色ブドウ球菌、A群β溶
血性連鎖球菌」が原因でおこります。

< 症状 >

湿疹や虫刺され痕を掻きこわした部分に細菌感染を起こし、びらんや水疱病変を形成します。掻痒感を認め
ることが多いです。アトピー性皮膚炎がある場合には重症になることがあります。

< 潜伏期間 > 2～10日

< 感染経路 > 接触感染

< 治療方法 >

経口抗菌薬の内服と外用薬による治療。

< 登園基準 >

皮疹が乾燥しているか、湿潤部分が覆える範囲の程度のものであること。

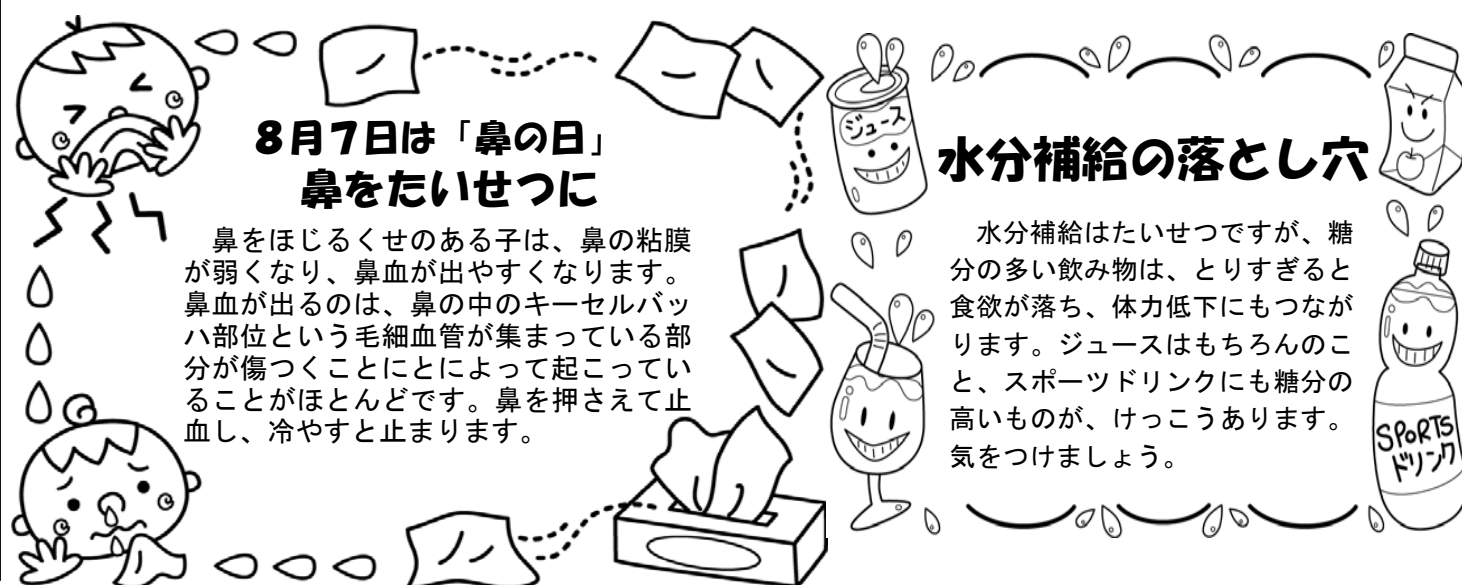
《お願い》 他のお子様への感染拡大を防ぐために、しっかりガーゼなどで覆って登園して下さい。

< プール >

完全に治るまでプールには入れません。

< 日常生活で気をつけること >

- ・掻き壊しによる感染拡大を防ぐため、お子様の爪は短く切りましょう。
- ・手指を介して原因菌が周囲に拡大するため、きれいに手を洗いましょう。
- ・体の他の部分への感染を予防するため、患部はガーゼで覆いましょう。



8月7日は「鼻の日」 鼻をたいせつに

鼻をほじるくせのある子は、鼻の粘膜
が弱くなり、鼻血が出やすくなります。
鼻血が出るのは、鼻の中のキーセルパッ
ハ部位という毛細血管が集まっている部
分が傷つくことによっても起こってい
ることがほとんどです。鼻を押さえて止
血し、冷やすと止まります。

水分補給の落とし穴

水分補給はたいせつですが、糖
分の多い飲み物は、とりすぎると
食欲が落ち、体力低下にもつなが
ります。ジュースはもちろんのこと、スポーツドリンクにも糖分の
高いものが、けっこうあります。
気をつけましょう。

